

文化変容装置によってリモートワーク文化を構築する

# リモートワークカルチャー 構想オンラインセッション



## 本サービスの概要

本サービスはリモートワーク文化の構築を支援するために開発された3時間のオンラインセッションです。都市空間が持つサブカルチャーによる自己システムの更新に注目し、この仕組みを活用することで、リモートワーク文化を構築・変容させることを目的としています。

コロナウイルス（COVID-19）は働き方にも大きな影響を与え、多くの企業はリモートワークへの対応を求められています。リモートワークではITリテラシー習熟度が生産性に直結したり、定時という概念が曖昧になって労働時間が多様化したりなど、これまでのリアルオフィスを中心とした人と人との関わり合い方を大きく変えるため、リモートワークにあった企業文化の構築準備をしておかないと、これまで培ってきた企業文化に対して徐々に悪影響を与えていくことが懸念されます。

本サービスでは、**自社にあった形のリモートワーク文化を参加者全員で構想**します。その上でオフィスワークを想定した現状の企業文化から、自分たちが目指す理想のリモートワーク文化への変容を生み出す仕組みである「**文化変容装置**」を社員自らが設計します。

※ZoomとMuralというツールを使用します

## サービスで得られるもの

- ・ 文化変容装置のレクチャー資料
- ・ 参加者によるこれまでのリアルオフィスの評価
- ・ 参加者によるこれまでのリモートワークの評価
- ・ 参加者の理想とするリモートワーク文化の試作
- ・ 理想とする文化を実現する文化変容装置の企画案

## 本プログラムを構成する3つのステップ

1. **リアル&リモートワークを評価する**・・・リアルオフィスで働くこと、リモートワークで働くことそれぞれの良い部分と悪い部分を洗い出し評価します。
2. **リモートワーク文化を構想する**・・・リアルでよかったことを組み込む、リモートの良さを促進する、リモートの悪さを改善するなどの方向性で自分たちの理想とするリモートワーク文化を構想します。
3. **リモートワーク文化変容装置を設計する**・・・文化変容装置の考え方をレクチャーし、自分たちの作りたいリモートワーク文化を実現する「仕組み（ツール×ルール）」を設計します。

## 文化変容装置とは

もともと都市が有していたサブカルチャーを生み出すためのメカニズム（文化装置）を、文化を変化させる仕組みとして再定義したもので、次の3つの機能を有します。

1. **アイデンティティ維持**：サブカルチャーを人々のアイデンティティに変換する。
2. **ネットワーク形成**：既にある人の繋がりを強化し、新しい人と繋がることを補助する。
3. **活動手段・情報提供**：サブカルチャーを実践するための活動手段や情報を提供する。

## 対象者

- ・ 働き方をリモートワークに移行したが、社員が適応できているか不安な方
- ・ リモートワークへの移行を機に、組織文化を見直したい方
- ・ これからの時代の働き方を考えてみたい方

お問い合わせ

株式会社フューチャーセッションズ 寛 大日朗

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 菊地 映輝

[co-culture@futuresessions.com](mailto:co-culture@futuresessions.com)



Future Sessions

G L O C O M